

平成27年11月13日

～いよいよ“すみだ北斎美術館”開館まであと1年！応援メッセージをお願いします！～ 北斎PR展示「日本を元気にする“すみだ北斎美術館”を 応援しよう！」本日からスタート

本日から、「産業観光プラザ すみだ まち処」（押上一丁目1番2号・東京スカイツリータウン・ソラマチ5階）で、北斎PR展示「日本を元気にする“すみだ北斎美術館”を応援しよう！」が始まった。これは、1年後の平成28年11月の開館が正式に決定した“すみだ北斎美術館”について、幅広い層の方に知ってもらうとともに、すみだと北斎の縁（ゆかり）を理解し、すみだ北斎美術館に対する応援気運を醸成するものとして開催。

期間中は、すみだ北斎美術館建築現場の定点写真などを展示したコーナーや、北斎ゆかりの地をマップで記した「すみだと北斎」コーナーなどを設置。「北斎とすみだの技」コーナーでは、“北斎 table”（株式会社間中木工所（立花5-9-5））や“北斎夫婦箸”（有限会社大黒屋（東向島2-3-6））などを展示しており、すみだの技術の高さを間近で見することもできる。また、今年も木版画摺り実演を行うとともに、22日・23日には木版画摺り体験（無料）も行う。本イベントは、25日（水）まで開催。

日本が世界に誇る絵師・葛飾北斎は、1760年（宝暦10年）9月23日、本所割下水付近（現在の墨田区亀沢界隈）で誕生し、90年にも及ぶ生涯のほとんどを生まれ故郷である“すみだ”で暮らし、区内の様々な風景を作品として残した。このように北斎と縁の深い墨田区では、北斎を区民の誇りとして永く顕彰し、後世に伝える「すみだ北斎美術館」の平成28年11月開館に向けて準備を進めている。また、墨田区では、美術館の開館に向けて寄付キャンペーンを展開しており、企業や団体等による北斎をテーマとした様々な企画との連携事業も実施している。

本日から行われた企画は、1年後に開館を控えたすみだ北斎美術館のPR展示「日本を元気にする“すみだ北斎美術館”を応援しよう！」。会場では、すみだ北斎美術館の建築現場レポートである定点観測写真やすみだ北斎美術館が所蔵しているピーター・モースコレクションの一部を紹介したパネルなどを展示。完成するまでの期待感を感じることができる。さらに「北斎美術館への応援メッセージ」コーナーでは、来場者にメッセージを書いてもらい、それをすみだ北斎美術館パース図の周囲に貼り付け。仕事で大分県から来た方は「北斎美術館OPEN楽しみにしています」とコメント。その他、「いろいろな作品が見られるのが楽しみです」や「江戸東京博物館と並ぶ観光スポットになれますように！」などの思いを込めた内容が寄せられている。

親子で楽しむことができるイベントとして、木版画摺り体験（22日・23日）を実施する。昨年も同イベントを行っており、多くの参加者が集まる人気の企画。今年も「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」の木版を摺ることができる。木版画摺り体験を実施していない日には、無地の巾着に布用インクで「北斎漫画スタンプ」を捺すことができるミニワークショップを開催（費用500円）。スタンプは、すみだ北斎美術館のロゴや北斎漫画を用意しており、世界に一つだけの巾着を作ることができる。盛りだくさんの内容となっている本イベントは、25日（水）まで開催。

北斎PR展示「日本を元気にする“すみだ北斎美術館”を応援しよう！」概要

【日時】平成27年11月13日（金）～25日（水） 午前10時～午後7時

【会場】産業観光プラザ すみだ まち処（押上一丁目1番2号・東京スカイツリータウン・ソラマチ5階）

【内容】北斎美術館応援メッセージ・すみだと北斎・北斎とすみだの“技”・実演&ワークショップ（実演&解説+摺り体験（1日10名）は22日・23日のみ。実演のない日はミニワークショップを実施（費用500円））など